



# 決算説明資料

2026年3月期 第3四半期  
(2025年4月－12月)

2026年 2月 13日

日本郵政株式会社  
(証券コード：6178)

A large, solid red shape that starts as a thin diagonal line from the top left and expands into a wide triangular area covering the right half of the slide.

1.

連結業績

- ・ 経常収益は8兆4,122億円、前年同期比862億円の増収
- ・ 経常利益は8,095億円、前年同期比1,069億円の増益
- ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益は2,580億円、前年同期比68億円の減益

■ 2026年3月期 第3四半期（累計）経営成績 及び 2026年3月期 通期業績予想 (億円)

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	前年同期比	通期業績予想 2026/3/31 注2	進捗率
経常収益	83,259	84,122	+ 862 (+ 1.0%)	113,700	74.0%
経常利益	7,025	8,095	+ 1,069 (+ 15.2%)	9,600	84.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 注1	2,649	2,580	△ 68 (△ 2.6%)	3,200	80.7%

注1：次ページ以降の「四半期純利益」「四半期純損益」は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」及び「親会社株主に帰属する四半期純損益」の数値。

注2：通期業績予想の数値は、2025年11月修正後の数値。

非支配株主持分を含む 四半期純利益 注3	4,312	5,251	+ 939 (+ 21.8%)
-------------------------	-------	-------	--------------------

注3：当社の中期経営計画「JP ビジョン2025+」の目標数値である、連結当期純利益に相当する利益。

- ・ 四半期純利益は日本郵便は94億円、ゆうちょ銀行は3,776億円、かんぽ生命は1,184億円
- ・ 日本郵便及びゆうちょ銀行は増収増益、かんぽ生命は減収増益

## ■ 2026年3月期 第3四半期（累計） 経営成績 （億円）

	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常収益	27,512	21,053	40,986
前年同期比	+ 1,531 (+ 5.9%)	+ 1,950 (+ 10.2%)	△ 2,360 (△ 5.4%)
経常利益	146	5,515	2,344
前年同期比	+ 117 (+ 402.4%)	+ 1,103 (+ 25.0%)	+ 116 (+ 5.2%)
四半期純利益	94	3,776	1,184
前年同期比	+ 120 (－)	+ 693 (+ 22.4%)	+ 339 (+ 40.3%)

## ■ 2026年3月期 通期業績予想 （億円） （※日本郵便及びかんぽ生命は2025年11月修正後数値、ゆうちょ銀行は2025年5月公表数値）

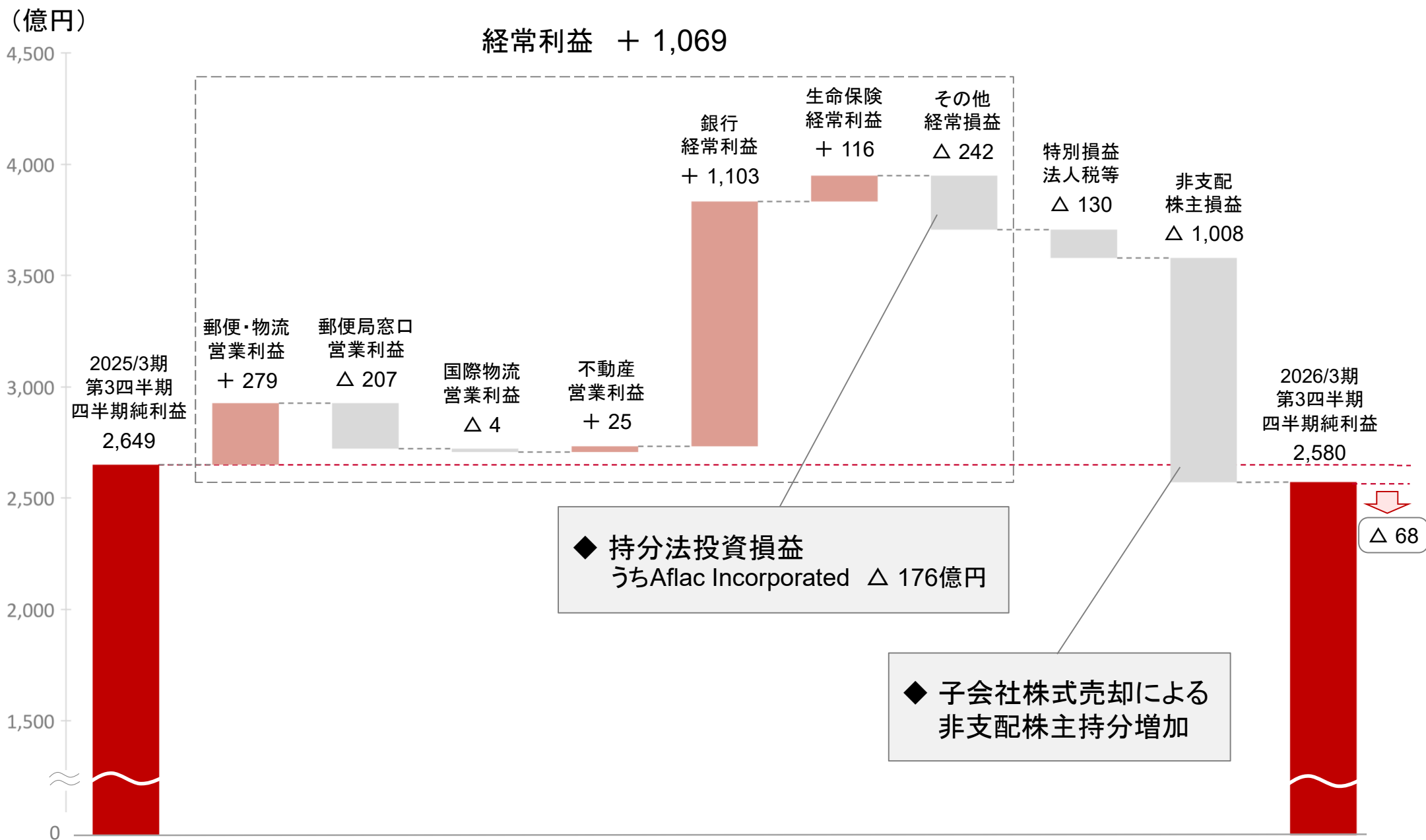
	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常利益	10	6,800	2,600
(3Q進捗率)	(1,461.9%)	(81.1%)	(90.2%)
当期純利益	10	4,700	1,590
(3Q進捗率)	(947.1%)	(80.3%)	(74.5%)

注：各社の数値は、各社を親会社とする連結決算ベース。また、「四半期純利益」「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」の数値。

(億円)

		2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	前年同期比
郵便・物流事業セグメント	営業収益	15,477	17,305	+ 1,827
	営業損益	△ 378	△ 98	+ 279
郵便局窓口事業セグメント	営業収益	7,660	7,648	△ 12
	営業利益	299	91	△ 207
国際物流事業セグメント	営業収益	3,960	3,695	△ 265
	営業損益(EBIT)	91	86	△ 4
不動産事業セグメント	営業収益	634	599	△ 35
	営業利益	127	152	+ 25
銀行業セグメント (ゆうちょ銀行)	経常収益	19,102	21,053	+ 1,950
	経常利益	4,412	5,515	+ 1,103
生命保険業セグメント (かんぽ生命)	経常収益	43,346	40,986	△ 2,360
	経常利益	2,227	2,344	+ 116

注: 国際物流事業セグメントはEBIT、銀行業セグメント・生命保険業セグメントは経常利益、その他は営業損益を記載。



- 銀行業セグメントは、年度初来からの国内金利上昇により、国債利息が想定を上回ったこと等を踏まえ、業績予想を下表のとおり修正するものの、日本郵政グループ連結業績に与える影響は限定的であること等から、日本郵政グループ連結の業績予想は修正しない。

(億円)

			前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率
日本郵政グループ			経常利益	9,600	9,600	—
			当期純利益	3,200	3,200	—
セグメント別	郵便・物流事業セグメント	営業損益	△ 240	△ 240	—	—
	郵便局窓口事業セグメント	営業利益	40	40	—	—
	国際物流事業セグメント	営業利益	130	130	—	—
	不動産事業セグメント	営業利益	180	180	—	—
	銀行業セグメント (ゆうちょ銀行)	経常利益	6,800	7,200	+ 400	+ 5.8%
		当期純利益	4,700	5,000	+ 300	+ 6.3%
	生命保険業セグメント (かんぽ生命)	経常利益	2,600	2,600	—	—
		当期純利益	1,590	1,590	—	—

(参考) 日本郵便 2026年3月期通期業績予想 営業利益:40億円、経常利益:10億円、当期純利益:10億円

注1: 上記はいずれも連結決算ベースの数値。当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」の数値。  
注2: 日本郵政グループの当期純利益は、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命の持分比率(ゆうちょ銀行:49.9%、かんぽ生命:49.8%)等を前提に算出。

- 配当予想の修正は行わない。

1株当たり配当		
	中間配当	期末配当
50円	25円	25円

※ 日本郵政株式会社法第11条に基づき、日本郵政の剰余金の配当その他の剰余金の処分(損失の処理を除く。)については、総務大臣の認可を受けなければその効力を生じない。

## ➤ Aflac Incorporated にかかる持分法投資損益

		2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	前年同期比
持分法投資損益	億円	414	237	△ 176

		2026/3期 第3四半期			
		4～6月	7～9月	10～12月	累計
持分法投資損益	億円	△ 24	55	206	237
アフラック当期純利益	百万 USD	29	599	1,639	—
持分比率	%	9.51	9.64	9.78	—
為替レート	円	152.60	144.59	147.48	—

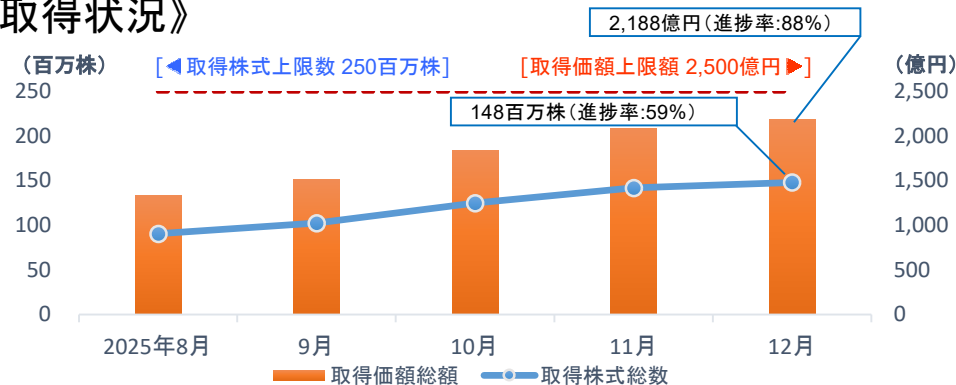
## ➤ 自己株式の取得状況(2025年12月31日現在)

2025年5月15日開催の取締役会において、株主還元の充実及び資本効率の向上を目的とした自己株式の取得を行うことを決議し、2025年8月1日から実施しています。

### 《概要》

- ・取得期間 : 2025年8月1日  
~2026年3月31日
- ・取得株式総数(上限): 250百万株
- ・取得価額総額(上限): 2,500億円

### 《取得状況》

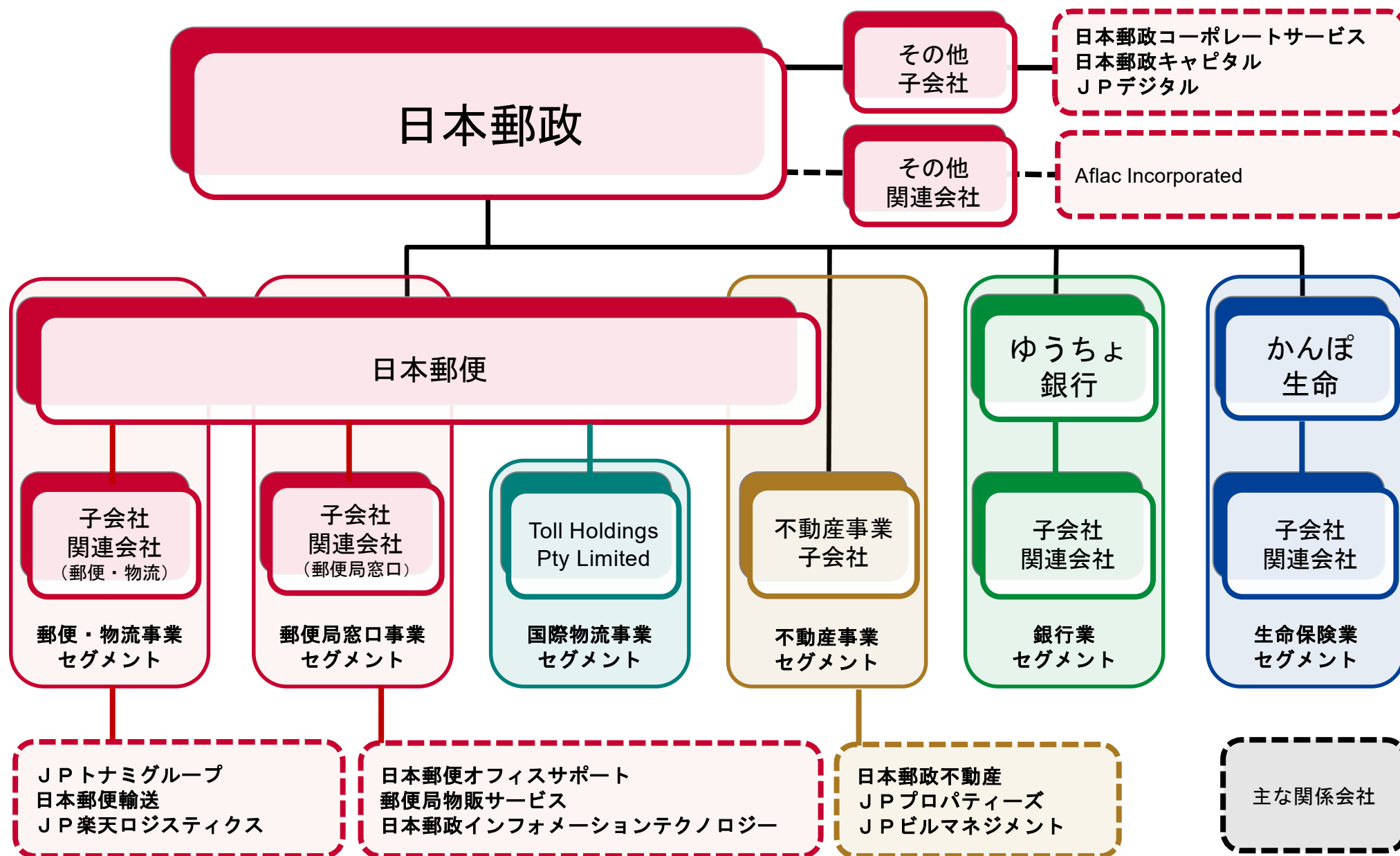




A large, solid green shape that starts as a thin diagonal line from the top left and expands into a wide triangular area covering the right half of the slide.

2.

セグメント別の状況



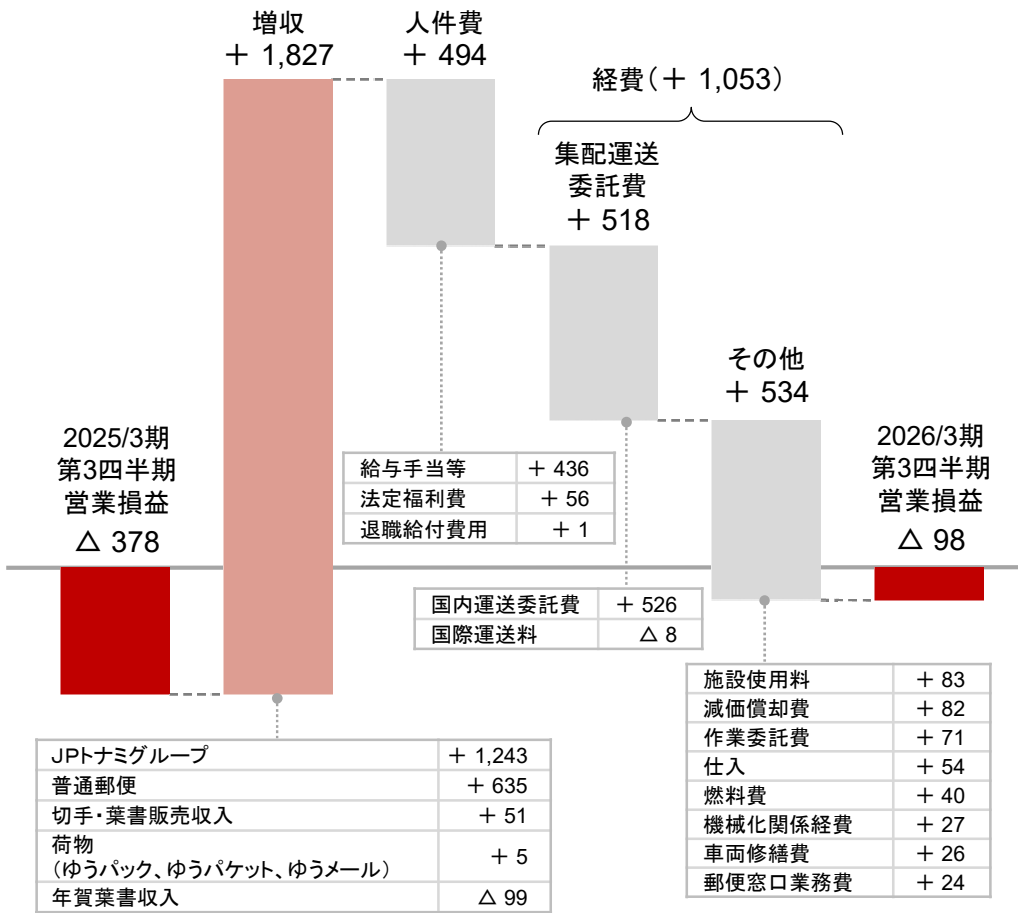
- ・ 取扱数量は、ゆうパケットが増加したものの、郵便、ゆうメールが減少し、5.4%減少
- ・ 営業収益は、郵便料金の改定、JPTナミグループの連結子会社化等により、1,827億円増収
- ・ 営業損益は、人件費、集配運送委託費等の営業費用も1,547億円増加したため、改善幅は279億円

営業損益の増減分析(前年同期比)

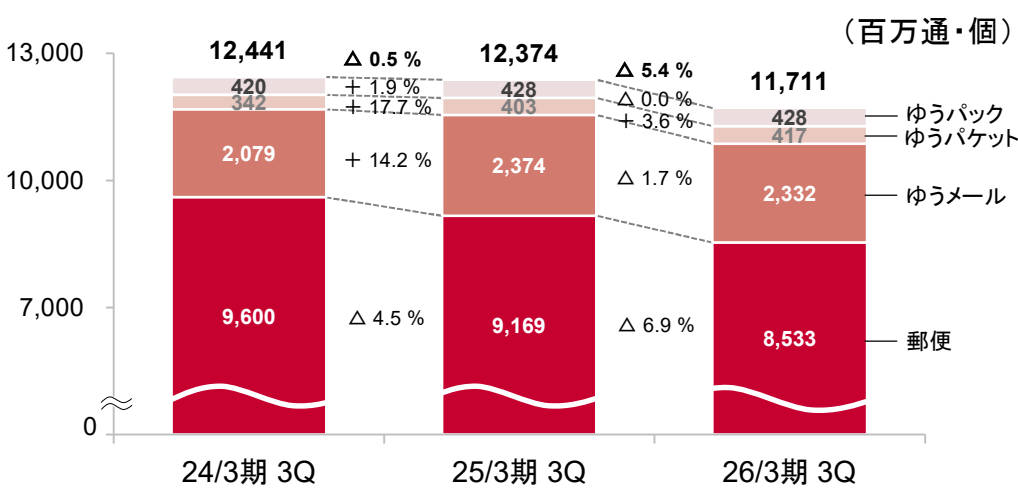
[営業損益の推移]

24/3期 3Q注	25/3期 3Q	26/3期 3Q
△ 379	△ 378	△ 98

(億円)



取扱数量の推移



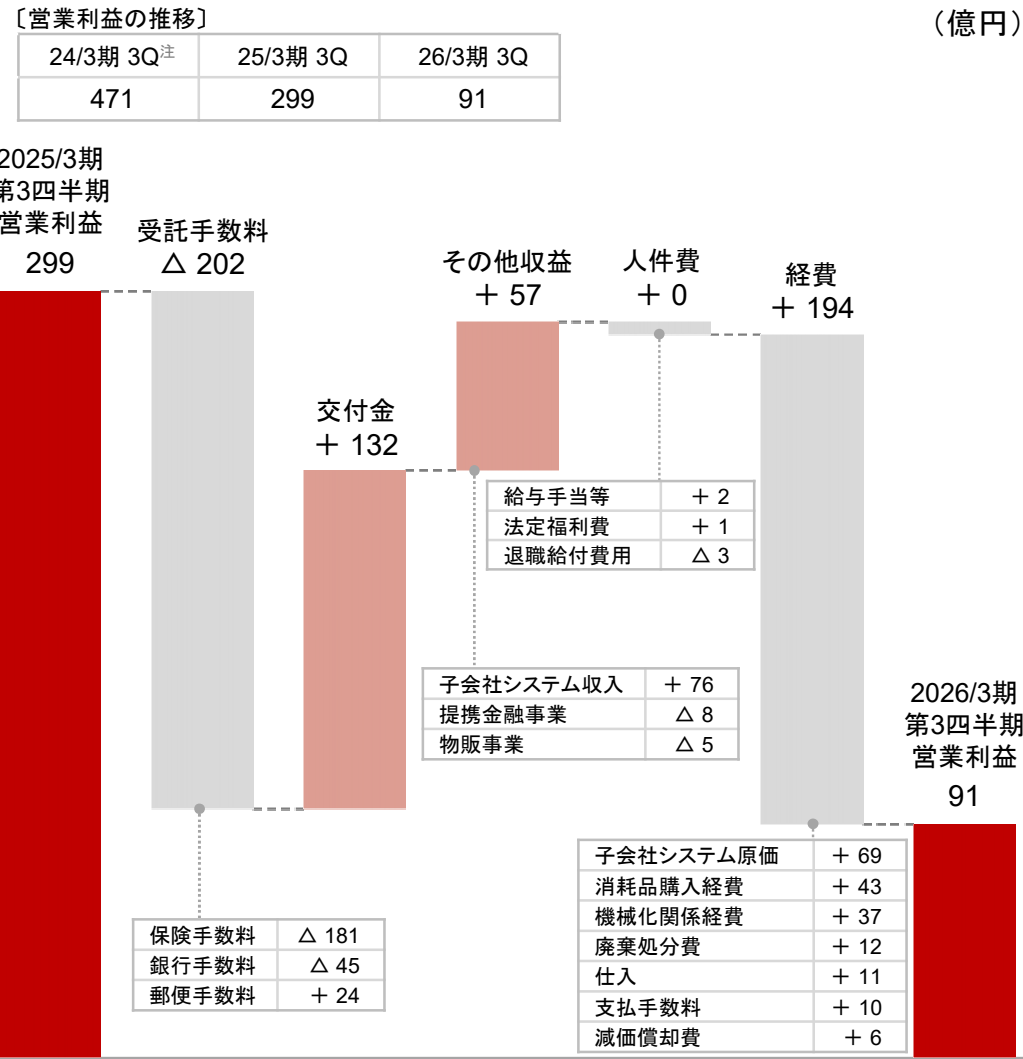
当第3四半期(累計)の経営成績

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減
営業収益	15,477	17,305	+ 1,827
営業費用	15,856	17,404	+ 1,547
人件費	9,682	10,177	+ 494
経費	6,173	7,226	+ 1,053
営業損益	△ 378	△ 98	+ 279

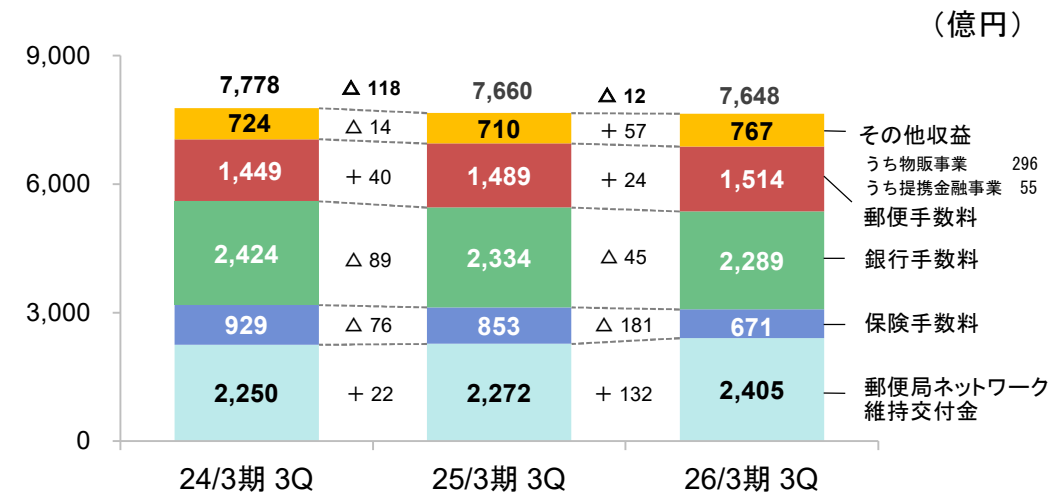
注：2025/3期から不動産事業セグメントを新設したことに伴い、2024/3期の数値を組替え。

- ・ 営業収益は、交付金が増加したものの、銀行手数料、保険手数料の減少が継続し、12億円減収
- ・ 営業利益は、減収に加えて経費の増加等により、207億円減益

営業利益の増減分析(前年同期比)



収益構造の推移



当第3四半期(累計)の経営成績

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減
営業収益	7,660	7,648	△ 12
営業費用	7,361	7,556	+ 195
人件費	5,312	5,312	+ 0
経費	2,048	2,243	+ 194
営業利益	299	91	△ 207

注：2025/3期から不動産事業セグメントを新設したことに伴い、2024/3期の数値を組替え。

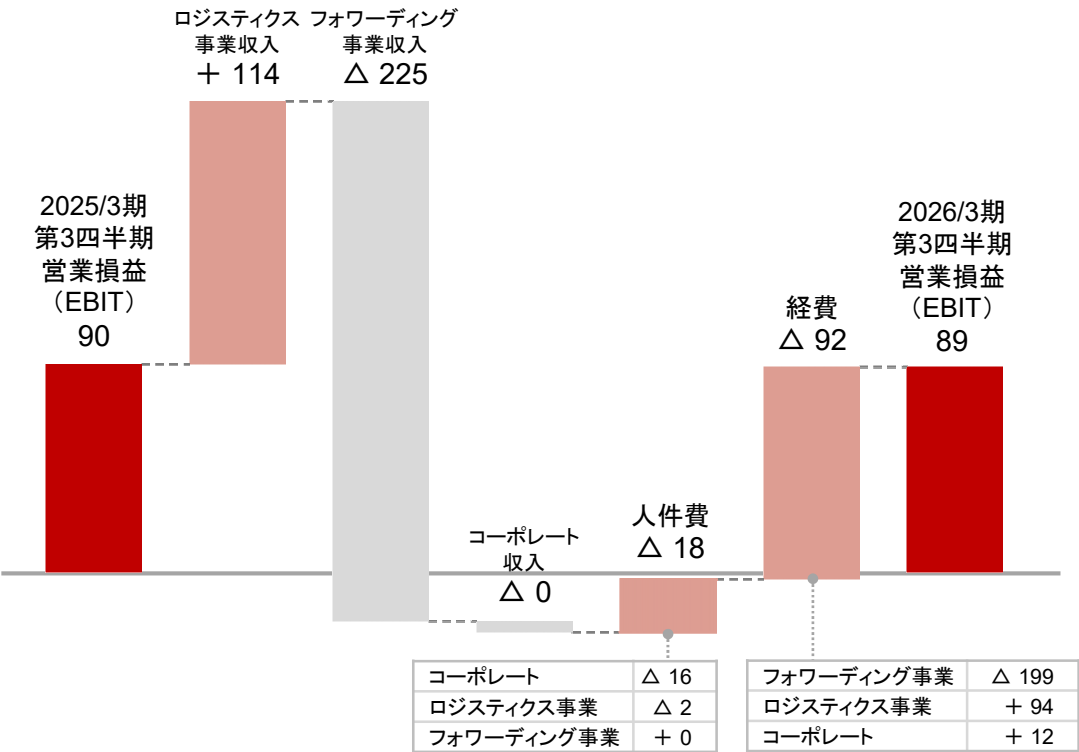
- ・ 営業収益は、フォワーディング事業の海上運賃の下落や取扱量の減少により、265億円減収
- ・ 営業損益(EBIT)は、概ね前年同期と同水準

営業損益(EBIT)の増減分析(前年同期比)

〔営業損益(EBIT)の推移〕

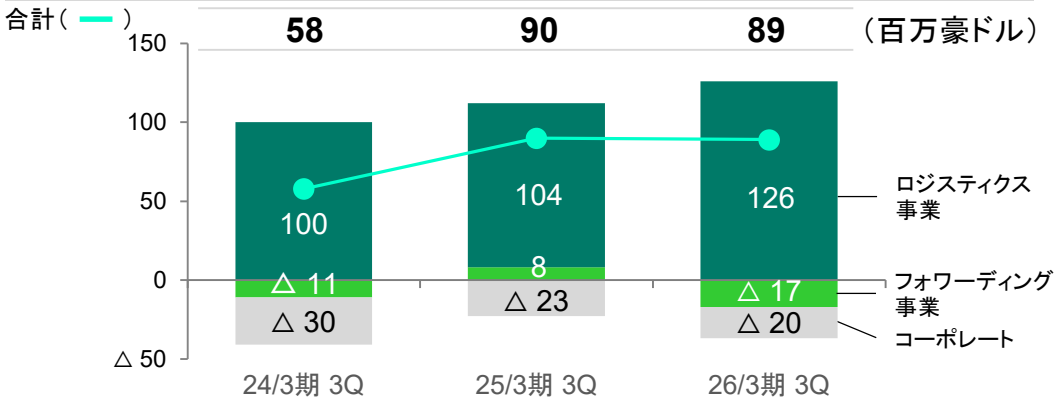
(百万豪ドル)

24/3期 3Q	25/3期 3Q	26/3期 3Q
58	90	89



注：表の下段括弧内は期中平均レート(2026/3期第3四半期 96.74円/豪ドル、2025/3期第3四半期 100.74円/豪ドル)での円換算額。

事業別の営業損益(EBIT)の推移



当第3四半期(累計)の経営成績

(百万豪ドル、下段括弧内は億円)

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減
営業収益	3,931 (3,960)	3,819 (3,695)	△ 112 (△ 265)
営業費用	3,841 (3,869)	3,730 (3,608)	△ 110 (△ 260)
人件費	997 (1,005)	979 (947)	△ 18 (△ 58)
経費	2,843 (2,864)	2,751 (2,661)	△ 92 (△ 202)
営業損益(EBIT)	90 (91)	89 (86)	△ 1 (△ 4)

# 不動産事業セグメント決算の概要

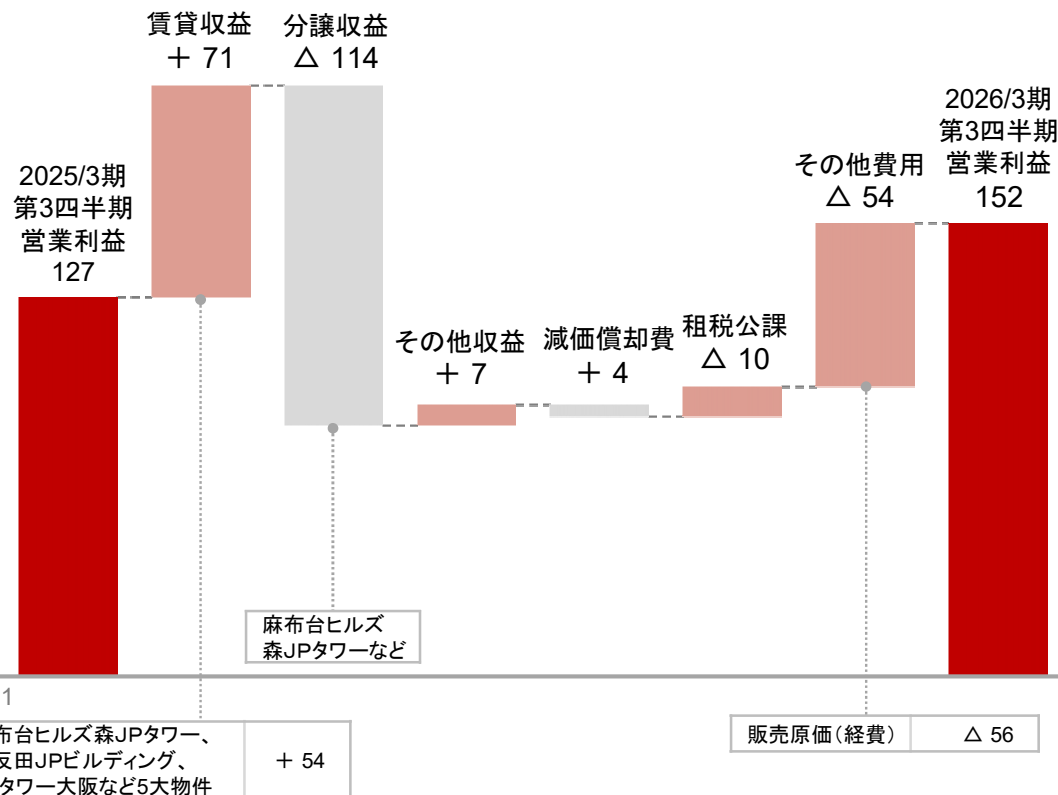
- ・ 営業収益は、賃貸収益の増加、分譲収益の減少により35億円減収
- ・ 営業利益は、25億円増益

## 営業利益の増減分析(前年同期比)

〔営業利益の推移〕

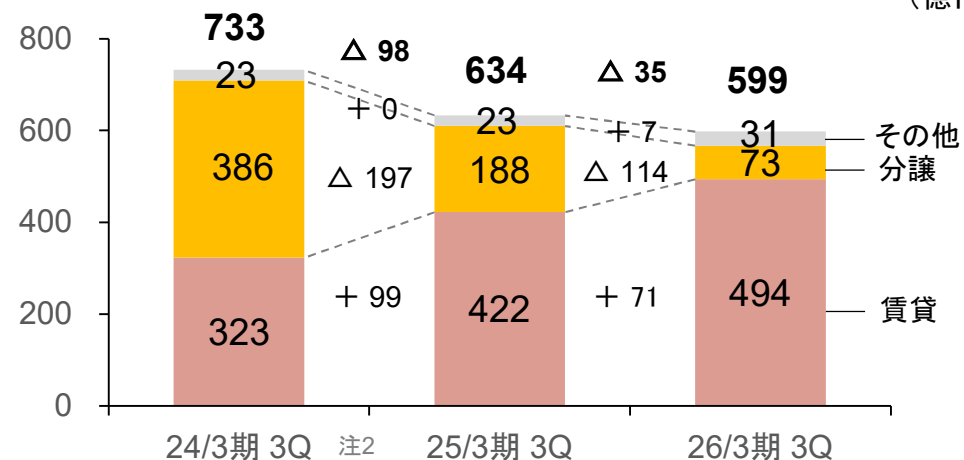
24/3期 3Q <sup>注2</sup>	25/3期 3Q	26/3期 3Q
165	127	152

(億円)



## 営業収益の推移

(億円)



## 当第3四半期(累計)の経営成績

(億円)

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減
営業収益	634	599	△ 35
賃貸	422	494	+ 71
分譲	188	73	△ 114
営業費用	506	446	△ 60
営業利益(※)	127	152	+ 25

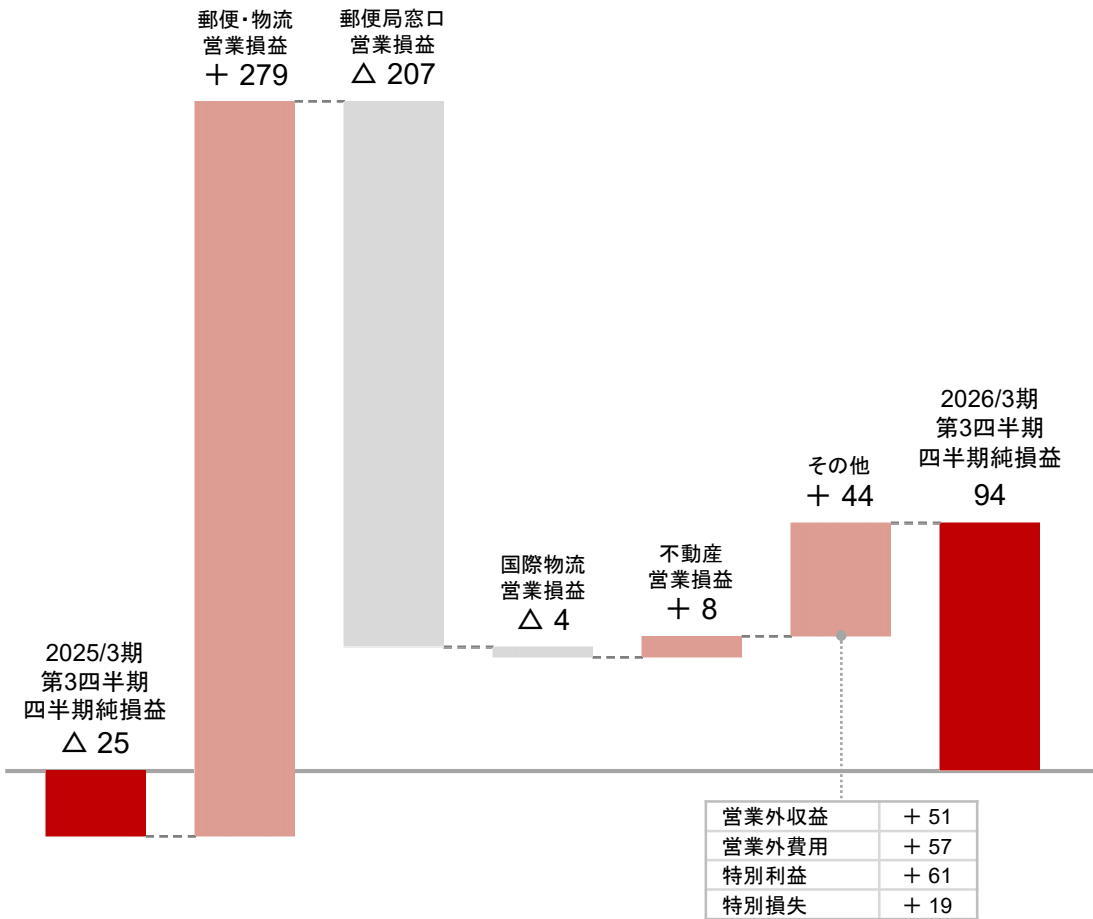
※ 経常利益は122億円(前年同期比+5億円)

注1: 中期経営計画中に竣工した、広島JPビルディング、蔵前JPテラス、麻布台ヒルズ森JPタワー、五反田JPビルディング及びJPタワー大阪。

注2: 前期(2025/3期)から事業セグメント区分を変更し、不動産事業セグメント(日本郵便の不動産事業、日本郵政不動産、JPビルマネジメント及びJPプロパティーズで構成)の業績を開示。2024/3期の値は、セグメント区分に対応するよう組替えを行い、比較情報を作成。

四半期純損益の増減分析(前年同期比)

〔営業利益の推移〕			〔四半期純損益の推移〕		
24/3期 3Q	25/3期 3Q	26/3期 3Q	24/3期 3Q	25/3期 3Q	26/3期 3Q
287	69	192	248	△ 25	94



当第3四半期(累計)の経営成績

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減
営業収益	25,931	27,411	+ 1,480
営業費用	25,861	27,219	+ 1,357
人件費	16,006	16,443	+ 436
経費	9,855	10,776	+ 921
営業利益	69	192	+ 123
経常利益	29	146	+ 117
特別損益	20	62	+ 42
税引前四半期純利益	49	208	+ 159
四半期純損益	△ 25	94	+ 120

- ・ 四半期純利益は3,776億円、693億円の増益

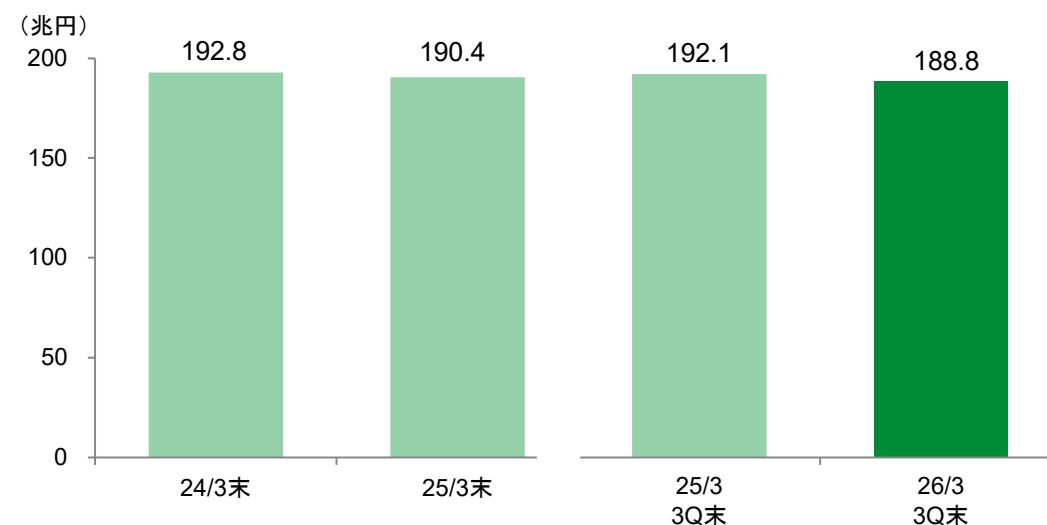
## 当第3四半期（累計）の経営成績（連結）

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減
連結粗利益	7,539	<b>10,063</b>	+ 2,523
資金利益	6,762	<b>9,218</b>	+ 2,455
役務取引等利益	1,200	<b>1,290</b>	+ 89
その他業務利益	△ 423	<b>△ 445</b>	△ 21
うち外国為替売買損益	△ 436	<b>△ 462</b>	△ 26
うち国債等債券損益	11	<b>15</b>	+ 3
経費（臨時処理分を除く）	6,906	<b>7,121</b>	+ 215
一般貸倒引当金繰入額	0	<b>1</b>	+ 1
連結業務純益	633	<b>2,940</b>	+ 2,307
臨時損益	3,778	<b>2,574</b>	△ 1,203
経常利益	4,412	<b>5,515</b>	+ 1,103
四半期純利益	3,083	<b>3,776</b>	+ 693

## 資金利益の内訳（単体）

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減
資金利益	6,762	<b>9,182</b>	+ 2,420
資金運用収益	12,687	<b>16,239</b>	+ 3,552
資金調達費用	5,925	<b>7,056</b>	+ 1,131

## 貯金残高（単体）





・ 四半期純利益は1,184億円、339億円の増益

## 当第3四半期（累計）の経営成績（連結）

	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減
経常収益	43,346	<b>40,986</b>	△ 2,360
経常費用	41,118	<b>38,641</b>	△ 2,476
経常利益	2,227	<b>2,344</b>	+ 116
特別損益	△ 301	<b>419</b>	+ 720
価格変動準備金戻入額 <sup>注</sup>	△ 299	<b>421</b>	+ 721
契約者配当準備金繰入額	730	<b>1,115</b>	+ 384
四半期純利益	844	<b>1,184</b>	+ 339
新契約年換算保険料 （個人保険）	1,490	<b>792</b>	△ 697
	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減
保有契約年換算保険料 （個人保険）	28,558	<b>27,232</b>	△ 1,325

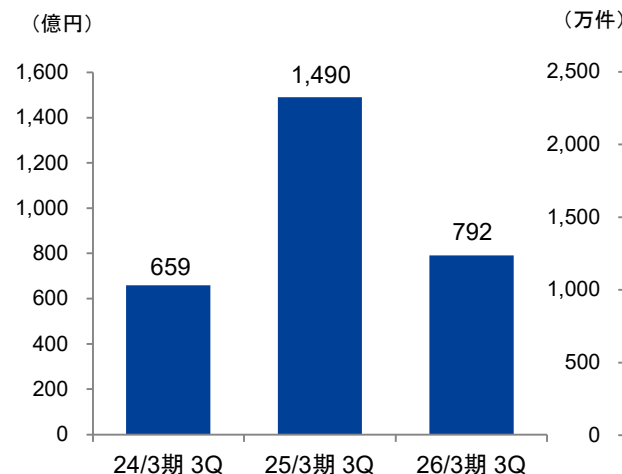
注：符号がプラスの場合は戻入を、マイナス(△)の場合は繰入を示す。

## （参考）経常利益の内訳（単体）

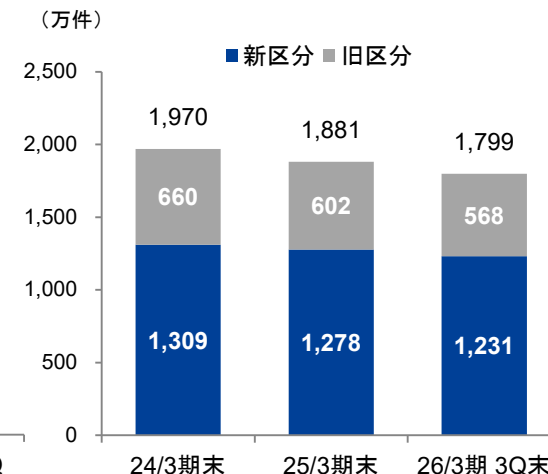
	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減
基礎利益	1,625	<b>3,009</b>	+ 1,384
キャピタル損益	378	<b>△ 511</b>	△ 889
臨時損益	216	<b>△ 142</b>	△ 358
経常利益	2,219	<b>2,355</b>	+ 136

## 契約の状況（個人保険）

### 【新契約年換算保険料】



### 【保有契約件数】



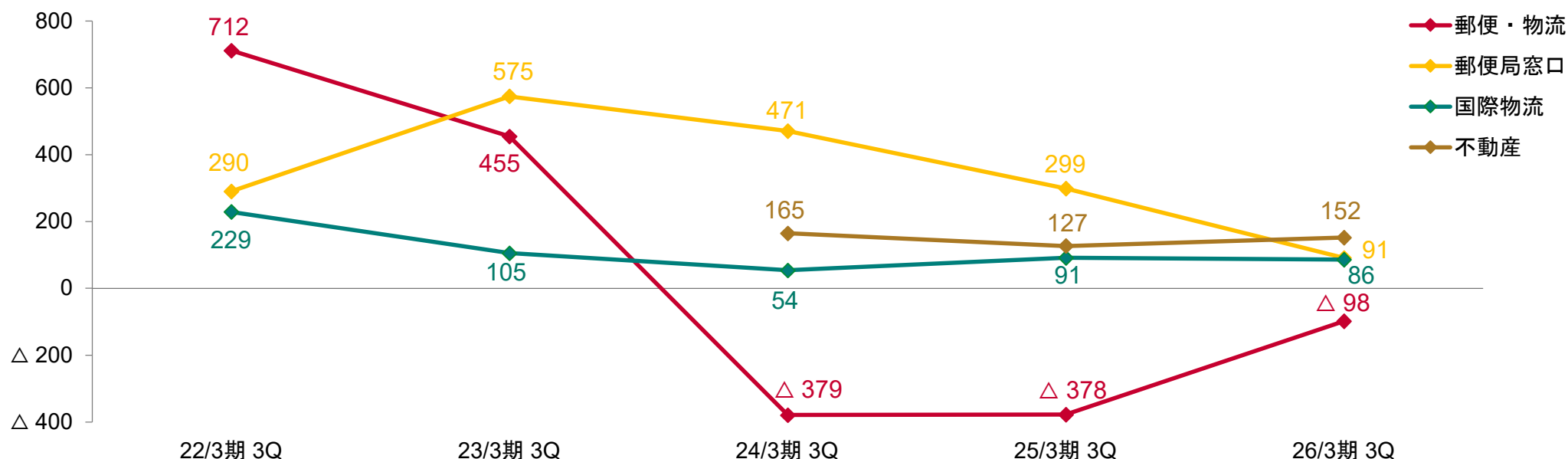
## ➤ 2026年3月期 通期業績予想の進捗率（セグメント別）

（億円）

2025年11月修正後	郵便・物流事業 セグメント	郵便局窓口事業 セグメント	国際物流事業 セグメント	不動産事業 セグメント
営業損益予想	△ 240	40	130	180
(3Q進捗率)	(－)	(230.0%)	(66.5%)	(84.8%)

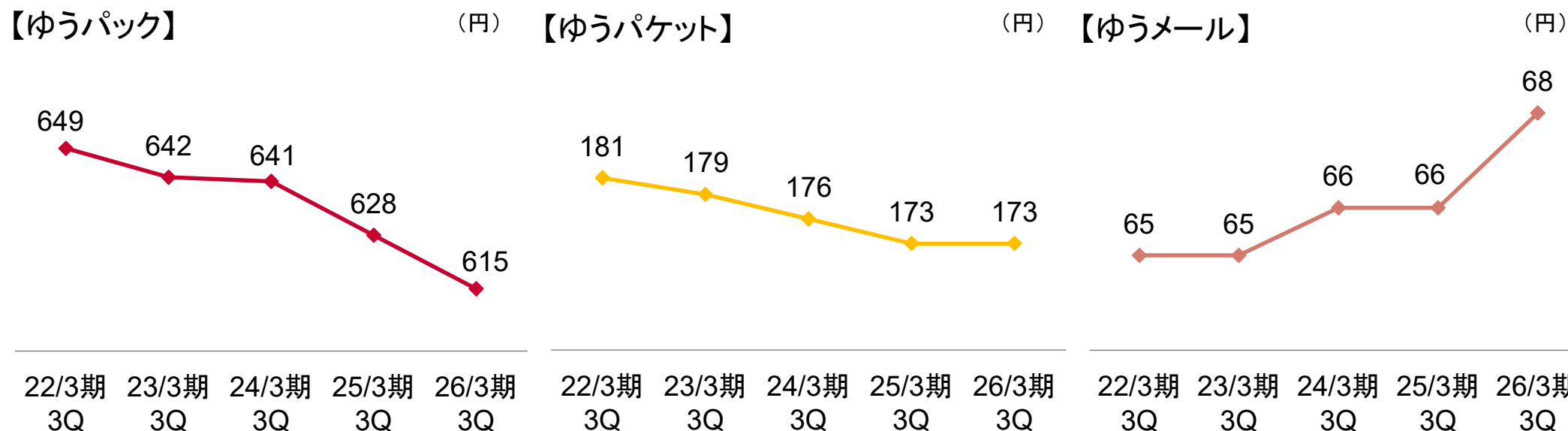
## ➤ 営業損益の推移（セグメント別）

（億円）

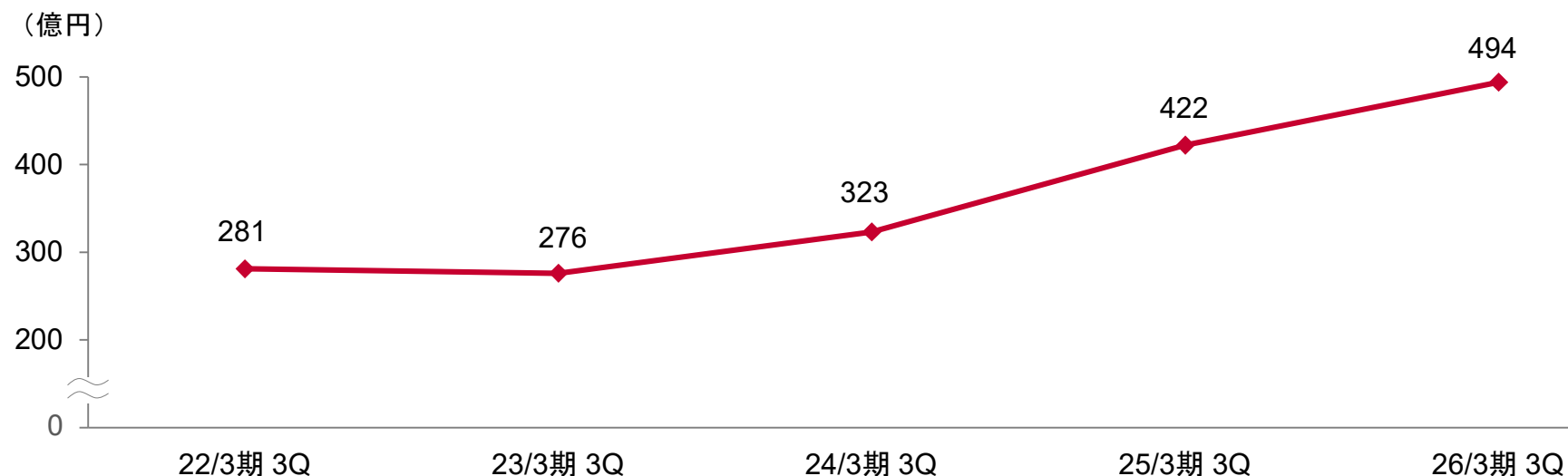


注：国際物流事業セグメントはEBITを記載。銀行業セグメント・生命保険業セグメントはP3を参照。

## ➤ 【郵便・物流セグメント】ゆうパック等の平均単価の推移



## ➤ 【不動産事業セグメント】賃貸収益の推移



A thick, solid blue diagonal stripe runs from the top right corner towards the bottom left, separating the white background on the left from the solid blue background on the right.

# 3.

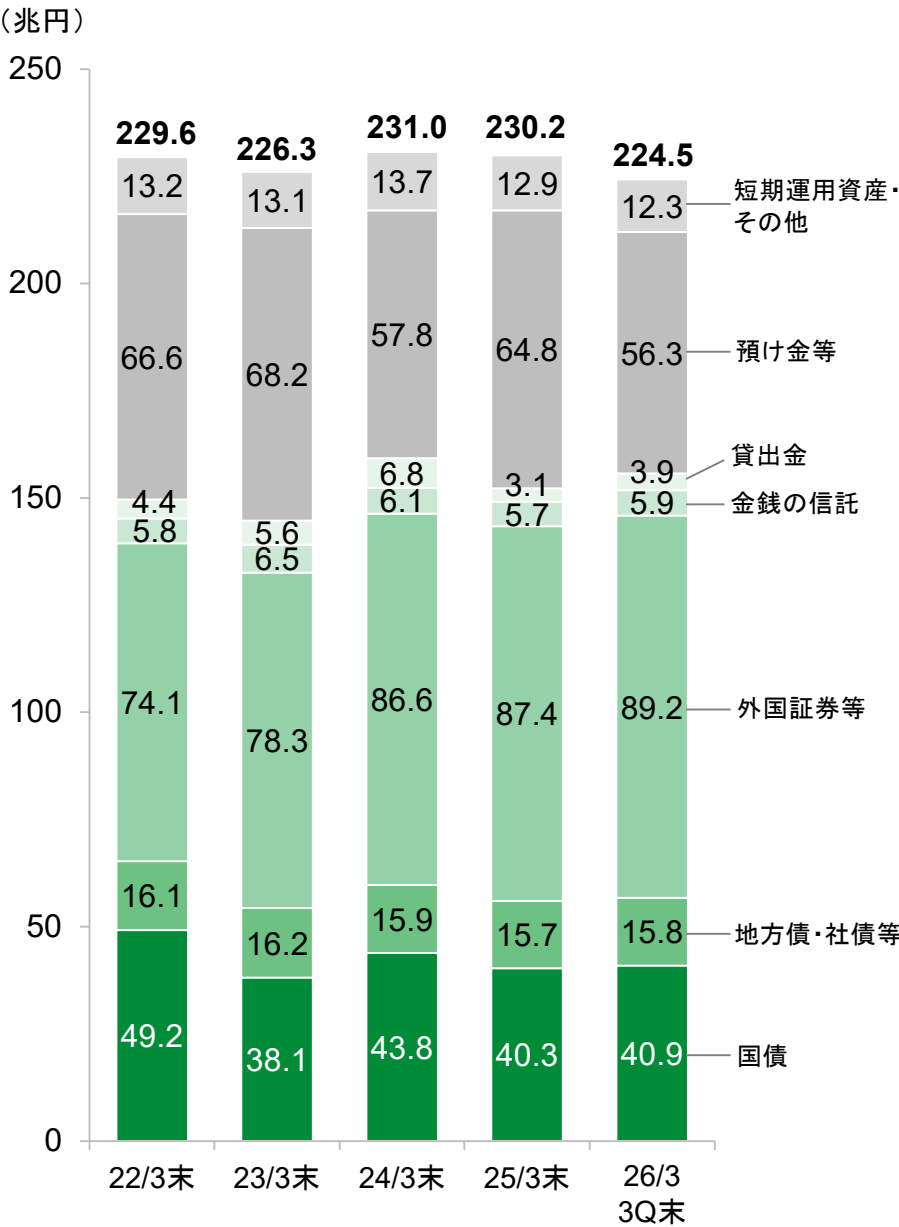
資料編

# 要約連結貸借対照表

(億円)

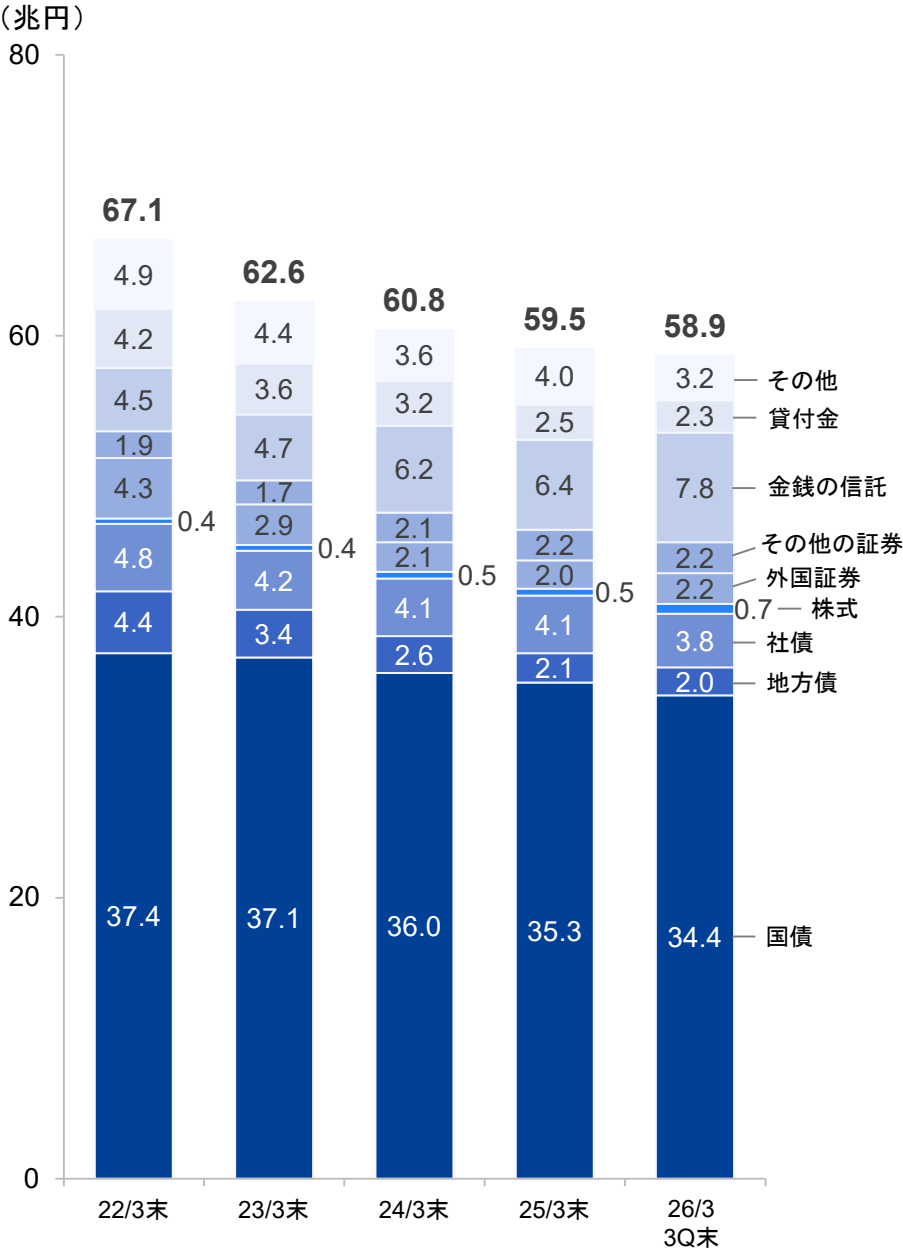
	2025/3期	2026/3期 第3四半期	増減
現金預け金	671,222	585,739	△ 85,482
コールローン	21,650	12,150	△ 9,500
買現先勘定	90,684	92,060	+ 1,376
金銭の信託	121,820	137,483	+ 15,663
有価証券	1,909,383	1,926,108	+ 16,725
貸出金	55,840	61,509	+ 5,669
有形固定資産	32,590	33,372	+ 781
無形固定資産	3,238	3,292	+ 54
繰延税金資産	11,819	7,265	△ 4,553
<b>資産の部合計</b>	<b>2,971,496</b>	<b>2,911,051</b>	<b>△ 60,444</b>

	2025/3期	2026/3期 第3四半期	増減
貯金	1,881,375	1,872,758	△ 8,617
売現先勘定	315,019	250,978	△ 64,040
保険契約準備金	501,656	487,558	△ 14,098
債券貸借取引受入担保金	20,046	27,146	+ 7,099
借入金	28,328	30,714	+ 2,386
退職給付に係る負債	20,308	21,096	+ 788
<b>負債の部合計</b>	<b>2,818,601</b>	<b>2,747,225</b>	<b>△ 71,375</b>
<b>純資産の部合計</b>	<b>152,895</b>	<b>163,826</b>	<b>+ 10,930</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,971,496</b>	<b>2,911,051</b>	<b>△ 60,444</b>



	2025/3期	構成比 (%)	2026/3期 第3四半期	構成比 (%)	増減
有価証券	1,435,653	62.3	1,460,152	65.0	+ 24,499
国債	403,426	17.5	409,057	18.2	+ 5,631
地方債・社債等 注1	157,963	6.8	158,681	7.0	+ 717
外国証券等	874,263	37.9	892,413	39.7	+ 18,149
うち外国債券	278,237	12.0	288,936	12.8	+ 10,699
うち投資信託 注2	594,373	25.8	601,747	26.7	+ 7,374
金銭の信託	57,219	2.4	59,331	2.6	+ 2,111
うち国内株式	6,165	0.2	7,566	0.3	+ 1,400
貸出金	31,305	1.3	39,033	1.7	+ 7,727
預け金等 注3	648,880	28.1	563,612	25.0	△ 85,268
短期運用資産・その他 注4	129,388	5.6	123,436	5.4	△ 5,952
運用資産合計	2,302,448	100.0	2,245,566	100.0	△ 56,882

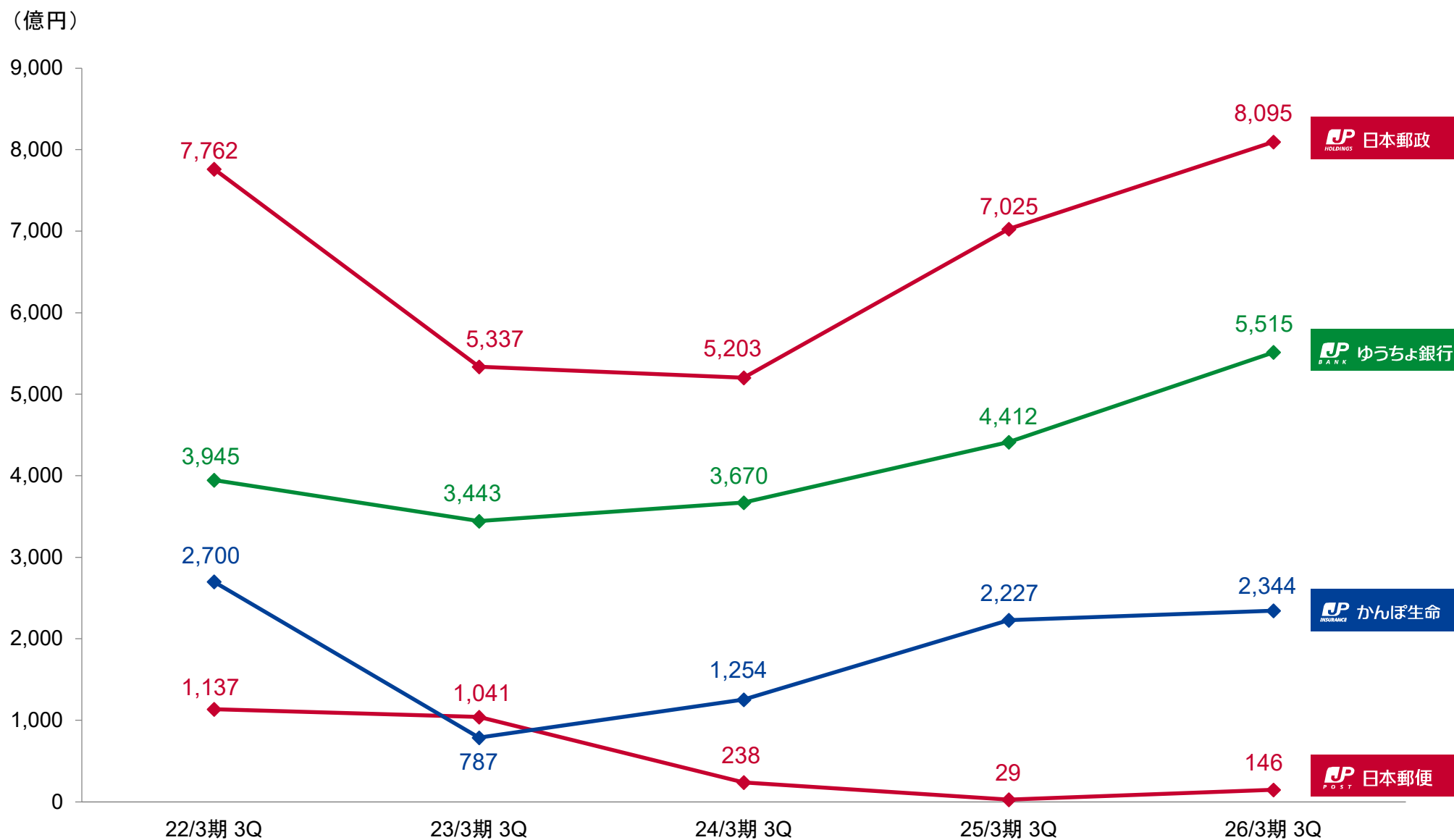
注1: 「地方債・社債等」は地方債、短期社債、社債、株式。  
注2: 投資信託の投資対象は主として外国債券。プライベートエクイティファンド等を含む。  
注3: 「預け金等」は日銀預け金、買入金銭債権。  
注4: 「短期運用資産・その他」はコールローン、買現先勘定等。



(億円)

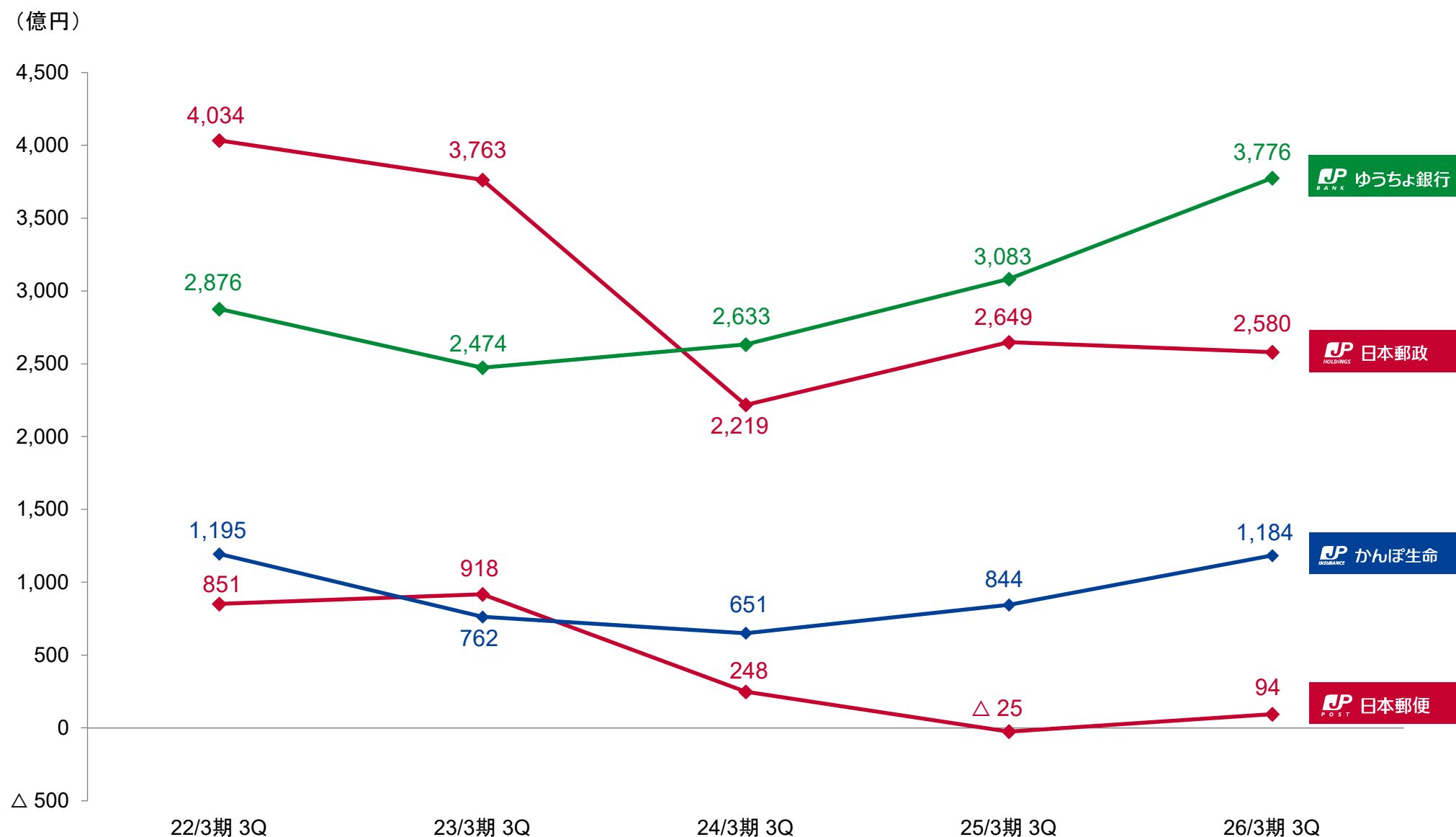
	2025/3期	構成比 (%)	2026/3期 第3四半期	構成比 (%)	増減
有価証券	465,287	78.1	455,478	77.2	△ 9,809
国債	353,903	59.4	344,183	58.4	△ 9,720
地方債	21,234	3.6	20,147	3.4	△ 1,087
社債	41,260	6.9	38,223	6.5	△ 3,037
株式	5,947	1.0	7,659	1.3	+ 1,712
外国証券	20,245	3.4	22,394	3.8	+ 2,149
その他の証券	22,696	3.8	22,870	3.9	+ 174
金銭の信託	64,600	10.8	78,152	13.3	+ 13,551
うち国内株式	30,774	5.2	40,018	6.8	+ 9,243
貸付金	25,300	4.2	23,217	3.9	△ 2,083
その他	40,368	6.8	32,905	5.6	△ 7,462
総資産	595,556	100.0	589,752	100.0	△ 5,803

# 経常利益の推移





# 四半期純損益の推移



本資料に記載されている通期業績予想等将来に関する記述は、当社が現在把握している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。実際の業績等は、国内外の金融政策の変更や景気変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、法規制の変更等様々な要因により大きく異なる可能性があります。